

Public Information Furubira

広
報

ふるびら

2025(令和7年)

11月号
No.600



マチイロ

広報紙をスマホなどで
閲覧できます



9月14日 恵比須神社例大祭

令和7年 第3回古平町議会定例会

9月10日に開会した第3回定例会で、町長が『行政報告』、教育長が『教育行政報告』を行いました。



行政報告

1 表彰式について

開町記念日である9月4日に令和7年度古平町表彰式を挙行し、町政に寄与された功労者を表彰いたしました。被表彰者は7月24日に表彰審議委員会へ諮問し、その答申に基づき決定した青柳富美代氏です。青柳富美代氏は社会教育委員をこれまで23年務め、社会教育の振興と生涯学習の推進に貢献されております。

式では、私から表彰状と記念品を贈呈いたしました。なお、併せて公共の福祉の増進に多額の寄付をされた古平奉仕会と、地域防災対策の推進に寄与された竹谷信一氏に感謝状を贈呈しております。

2 鳥獣被害防止対策について

7月30日に平田牧場内でヒグマの目撃情報があったため、猟友会古平分区の協力のもと周辺のパトロールを実施し、8月4日に「はこわな」を設置しました。「はこわな」には、8月7日と8月17日にそれぞれオスのヒグマ1頭が掛かり、駆除したところでございます。

町内には他にもまだヒグマの痕跡があり、近隣町村でもヒグマの出没・目撃情報が多発していることから、町民の皆様へは、出没情報等を提供するなど注意喚起に努めて参ります。

3 プレミアム商品券発行支援事業（第2弾）について

商工会が発行するプレミアム商品券への支援事業は、6月末に販売されたプレミアム率20%に引き続き、30%の第2弾事業へも補助を予定しております。物価高騰で影響を受けている町民生活支援や疲弊する地域経済の振興策として有効であると考え、決定したところであります。

関連する経費につきましては、後程、補正予算をご提案いたしますので、上程の際にはよろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

4 ふるさと納税について

令和7年度のふるさと納税の寄付状況は、7月末現在で、寄付件数が4,479件（対前年比79.3%）、寄付額は5,932万円（対前年比92.8%）となっております。令和6年度の全国納税受入額が1兆2,728億と過去最高を記録したのに比べ、本町の寄付額は伸び悩んでいる現状であります。

このような現状を打破するために、町内の各事

業所と協力し、特産品の知名度の向上に努めるとともに、先行自治体を視察し参考にするなど、より多くの方に古平町を応援・寄付していただけるよう創意工夫を図って参ります。また、ふるさと納税の指定基準の見直しが行われ、10月1日からポイントを付与するポータルサイト等を通じた寄付募集が禁止となりますので、その動向に注視してまいります。

5 道の駅ふるびら「たらこミュージアム」について

道の駅ふるびら「たらこミュージアム」の来場者数は、7月末時点でおよそ216,000人であります。6月以降はウニ漁が始まったこともあり開業当初にはほとんど見られなかった、大型バスでの団体客も増加しており、休日を中心として多くの観光客に来館いただいております。

オープンから5か月ほどが経過し、お客様や町民の皆様から「飲食部門にたらこメニューを増やしてほしい。」など様々な声をいただいております。その一つ一つの意見や要望を指定管理者と協議しながら改善に繋げ、より多くの方に来場してもらえる道の駅を目指してまいります。

6 定額減税補足給付金について

昨年度実施した「所得税及び住民税の定額減税調整給付事業」では、対象者それぞれの個人住民税や所得税から、減税額を控除し、控除しきれない額が発生した場合に「調整給付金」を支給いたしました。しかし、確定申告等を経て、税額が確定した結果、当該給付金に不足が生じた場合には今年度、「不足額給付」を行うこととなります。古平町でのこの対象者は約400名、総額12,000千円余りで、今後の手続きとしては、申請の不要な方にはプッシュ式で、また、新たに申請が必要な方には申請書を送付し、今定例会に提出しております補正予算の議決後に、順次、支給して参ります。

本給付金は、第2回定例会において、補正予算の議決いただきましたが、国からの算定ツールシステムで再度精査したところ、対象者が増加したため、再度補正予算を計上しております。上程の際には、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願いいたします。

7 新型コロナウイルス感染予防対策について

新型コロナウイルスは、一昨年の5月8日から感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されております。これにより新型コロナワクチン接種は昨年度から、65歳以上、及び60～64歳で基礎疾患（心臓、腎臓、呼吸器等）を有する方を対象とした定期接種となり、一部自己負担も生じております。本町では、今年度の接種についても昨年度同額の1,000円で予定しておりますが、国の助成金や他の北後志4町村の自己負担額を勘案した上で、最終的な決定をさせていただきます。なお、接種は全国の医療機関で可能ですが、北後志以外

の場合は、一旦1万5千円程度を負担していただき、自己負担額を差し引いた額を後日、償還払いすることとなります。今後も余市医師会の協力の下、北後志5町村が連携してスムーズな接種体制を確保するよう努めて参ります。

8 熱中症対策について

熱中症による死傷者を発生させないため、気候変動適応法第21条に基づく指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）と同法に基づかない独自避難施設（涼み処）を指定し、7月11日～9月11日までの期間内で、熱中症警戒アラートが発令された際などには町民の皆さんが一時退避できるように開放しています。なお、7月31日には、これまで涼み処として指定していた古平郵便局と古平浜町郵便局を、法に基づくクーリングシェルターとして追加し、協定締結式を同日、本複合施設かなえ〜るで実施いたしました。これにより8月末時点で、町内のクーリングシェルターは3ヶ所、涼み処は5ヶ所となっております。今夏、後志管内を対象とする熱中症警戒アラートが2回発表されましたが、同シェルターの利用者はおりませんでした。

また、熱中症対策として今年の敬老の日の記念品は、77歳以上の方全員に熱中症予防食品を、喜寿、米寿、百歳以上の方へは、温度と湿度が表示されるデジタル時計としたところであります。

9 敬老会について

老人週間の行事の一貫として9月5日、令和7年度古平町敬老会を本複合施設・大ホールで挙行了いたしました。出席者は、9月1日現在、数え年77歳以上の671名で、そのうち65名が元気に出席したところであります。出席者は、幼児センターみらいの園児によるお遊戯、双子パフォーマーによるミニサーカス及び新岡師範の三味線・民謡を、久々に再会する友人らと一緒に楽しんでおられました。今年度は祝100歳の紀寿になられる方はおりませんでした。101歳以上の方は3名で、最高齢者は、104歳の大和田エイさんでございます。

10 新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について

新型インフルエンザ等特別措置法に基づき、古平町新型インフルエンザ等対策行動計画を策定いたしました。同第8条第6項の規定で議会へ報告することとなっておりますので、当該計画を配布させていただいております。詳細につきましては、後程、ご高覧願います。

11 地域医療の推進及び介護医療院について

海のまちクリニックでは、より良い診療所・介護医療院を目指して日々改善に努めておりますが、今後の「医療・介護サービスの改善及び質の向上」に役立てるため、9月の1か月間で、患者や入所者及びその家族に対して「満足度調査」を実施しております。皆様からの評価やご意見を把握

し、今後の施設運営の改善に役立てたいと考えております。

介護医療院は現在18名（男性6名、女性12名）が入所し、満床となっております。同院の目的の1つである看取りについては、令和7年度は男性・女性ともに2名ずつの計4名の方を看取りしております。ひとりでも多く方の「住み慣れた地域で最後まで暮らしていきたい」という望みを叶えられるよう事業運営に努めて参ります。

教育行政報告

1 学校教育活動等について

小中学校とも7月24日から8月20日まで28日間の夏季休業を終え、21日に2学期をスタートしております。



中学校の玄関オートロック化工事については、6月に正面玄関の施錠にオートロックシステム装置を設置しました。これにより不審者侵入に対する防犯性を向上させています。教職員からは「安全になったことで安心して授業に臨むことができる。」との声をいただきました。（施工業者 岩谷電機、工事金額 591,965円）

また、中学校体育館照明LED化工事については、工事本体を8月8日に終了し、全体16基が既に新しくなっております。今までスイッチを付けてから明るくなるまで数分必要だったのが、すぐに明るくなるので授業や部活動の用意の時間が短縮されるとともに、屋体全体が明るくなっております。（施工業者 有山本電機、工事金額 7,480,000円）

8月20日、学校教職員による不審者対応訓練を実施しました。これは、近年発生する不審者の学校内への侵入に対して、教職員が対応訓練を行うことにより、児童生徒の安全を確保することを目的とします。この日は余市警察署生活安全係と古平駐在所から警察官を迎え、中学校は午前、小学校は午後に各1時間ほど訓練しました。警察官が不審者役を務め、教職員が対応、制圧、避難誘導を行い、制圧完了です。その後、警察官から講評をいただき、さすまたの使い方や時間の稼ぎ方などを教示してもらい終了しました。中学校はほぼ全員、小学校は全員の教職員が参加いたしました。

中体連関係です。バドミントン部、バレーボール部、野球部（中学生向け軟式野球クラブチーム「ブルータス」の一員として参加）、水泳個人、柔道個人、剣道個人が6、7月に開催された後志大会に出場し、日頃の練習成果を存分に発揮しております。そのうち、全道大会に出場できたのは、バドミントンと野球でした。古中3年丹後歩翔さんは7月30日から小樽市で開催の北海道中学校バドミントン大会男子シングルスに出場しましたが、全道の壁厚く初戦敗退です。また、野球部員5名はブルータ

スの一員として7月29日から道南知内町・木古内町で開催の北海道中学校軟式野球大会に出場、健闘及ばずスコア3対4で惜しくも1回戦敗退です。

8月5日全日本吹奏楽コンクール北海道予選札幌地区大会が札幌市で開催され、古中吹奏楽部はC編成の部に出場、今年は銅賞を受賞しました。部員数の減少傾向を跳ね返すようなパワフル演奏だったと聞いております。

2 学校給食について

ご承知のとおり当町の学校給食は100%古平産米を使用しております。全国的に米価や資材費等の高騰が続く中、生産者の方々や新おたる農協のご協力を得て、令和7年古平産米の給食提供が可能となりました。9月中に契約締結を済ませ、10月には新米として給食提供する予定です。

平田牧場から古平飼育場産の豚ヒレ肉約9キログラムが寄贈されました。「ヒレカツ」として7月16日に給食提供しております。子どもたちの反応は、食缶のふたを開けた瞬間「うわ～」と歓声が上がった。「これぞ肉って感じでおいしかった。」とのことでした。

また、古平名産品のたらこ6キログラムが寄贈されました。社名は伏せてとのお話でしたので、町内の小売事業者さんとだけご披露いたします。「焼きたら子」として8月22日に給食提供しました。子どもたちからは、「ご飯がもっとほしくなった。」「(焼くことで)爆発してないのでうれしかった。」「焼き加減がちょうど良かった。」との声がありました。

寄贈くださったご両社に対し、改めてお礼申し上げます。

3 生涯学習・スポーツについて

クロール25m泳げない子を対象にした「小学生の水泳教室」を6月20、24、26日に海洋センタープールで開催、延べ46人(平均15人/日)が参加して練習しました。学校の授業に向けて、水泳の基礎と楽しさを学習しております。

少年少女わんぱく王国は、第2回を6月21日に開催、9人が参加して「農業体験 コスモスの種まき、いちご狩り」を田村修氏の畑で行いました。農家のお話を聞き、実際に体験することで、新しい発見や楽しさ、農業の大変さを実感できたのかなと思います。「コスモスの種が思ったよりも細長くてビックリした。」「種まきの大変さがわかった。」「いちごがたくさんとれて楽しかった。」という声でした。

王国の第3回は7月29、30日に開催、12人が参加して「キャンプ活動」を漁港会館と海洋センターで行いました。1日目は夕食のカレーライスづくり、花火、2日目は朝食焼きそばづくり、プールレクと進め、カムチャッカ沖地震による津波注意報の発令がありましたので、保護者へ連絡し帰宅しております。

高齢者教室たけなわ学級は、第3回を7月23日に開催、9人が参加して「おとなの読み聞かせ&音読体験」を実施しました。音読による脳の活性化やリラクセス効果を学び、図書への興味も高めることを目的にして、「読み聞かせはとても聞きやすく心がおちつきました。」「久しぶりに絵本を楽しむことができました。」などの感想をいただいております。7月26日には芸術文化鑑賞事業「千昌夫コンサートin古平」を小学校体育館で開催しました。当日は来場者245人にのぼり、昭和を代表する演歌歌手の歌とトークを堪能されたことと存じます。

古平町図書館の利用状況についてです。今年度実績は8月末日時点で、延べ貸出者数477人(昨年同期425人)、貸出冊数1,833冊(同1,349冊)、来館者数12,373人(同6,466人)です。また、累計の図書館利用カード作成者は343人(同322人)、蔵書数は16,479冊(同15,391冊)となっております。たくさんのご利用、誠にありがとうございます。

なお、来館者数の倍増は、4月オープン道の駅効果の一つと認識するところです。

町民皆様の健康づくりの習慣と関心を高めることを目的とした健幸ポイント事業については、本年度も5月1日から開始、前回の報告(5月30日時点59人)から1人増えて、8月末日時点60人(昨年同期51人)の方が登録し参加されております。今後もイベント等で事業周知を図りながら、取り組んでまいります。

第3回定例会で審議された案件

第3回定例会では、次の案件が審議されました。

＜議案第34号＞ ＜原案可決＞

令和7年度古平町一般会計補正予算(第2号)

現行予算に3,723万6千円を増額し、予算総額を41億3,038万4千円とするものです。主な内容は、定額減税補足給付金やプレミアム商品券(第2弾)発行の補助金を増額補正するものです。

＜議案第35号＞ ＜原案可決＞

令和7年度古平町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

現行予算に247万7千円を増額し、予算総額を1億1,682万円とするものです。主な内容は、国保システムを改修するための委託料を増額補正するものです。

＜議案第36号＞ ＜原案可決＞

令和7年度古平町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

現行予算に257万7千円を増額し、予算総額を7,197万7千円とするものです。主な内容は、後期システムを改修するための委託料を増額補正するものです。

＜議案第37号＞ ＜原案可決＞

令和7年度古平町介護保険サービス事業特別会計

補正予算（第1号）

現行予算に27万3千円を増額し、予算総額を1億9,607万3千円とするものです。主な内容は、介護医療院の給湯補給水配管等の修繕料を増額補正するものです。

＜議案第38号＞ ＜原案可決＞

令和7年度古平町立診療所運営事業特別会計補正予算（第1号）

現行予算に237万3千円を増額し、予算総額を1億927万3千円とするものです。主な内容は、带状疱疹予防接種の接種者数増のため、ワクチン購入費を増額補正するものです。

＜議案第39号＞ ＜原案可決＞

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、仕事と生活の両立支援の拡充と子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置として、「育児時間の多様化の拡充」についての改正を行うものです。

＜議案第40号＞ ＜原案可決＞

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、仕事と生活の両立支援の拡充と子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置として、「子の年齢に応じた柔軟な働き方の実現」についての改正を行うものです。

＜議案第41号＞ ＜原案可決＞

古平町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例案

地方公共団体情報システムの標準化への移行に伴い、「住登外者宛名番号管理機能」について、マイナンバーの独自利用を行う事務等として条例に規定する必要があるため、改正するものです。

＜議案第42号＞ ＜原案可決＞

古平町議会議員及び古平町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、古平町議会議員及び古平町長選挙における選挙運動の公費負担額を改正するものです。改正内容は、選挙運動用の通常葉書、ポスター等の作成の公営に要する経費の限度額を引き上げるものです。

＜議案第43号＞ ＜原案可決＞

北海道市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約について

構成団体である江差町・上ノ国町学校給食組合の脱退（解散）があったため、地方自治法の規定により規約変更議案に議会の議決を求めるものです。

＜議案第44号＞ ＜原案可決＞

北海道市町村職員退職手当組合規約の一部を変更**する規約について**

議案第43号と同じ

＜議案第45号＞ ＜原案可決＞

北海道市町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部を変更する規約について

議案第43号と同じ

＜報告第3号＞ ＜承認＞

令和6年度決算に基づく健全化判断比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により、健全化判断比率を議会に報告するものです。

＜報告第4号＞ ＜承認＞

令和6年度決算に基づく資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、資金不足比率を議会に報告するものです。

＜同意2号＞ ＜原案同意＞

古平町固定資産評価審査委員会委員の選任について

古平町固定資産評価審査委員会委員として、須田嘉勝氏を選任するために、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものです。

＜同意3号＞ ＜原案同意＞

古平町固定資産評価審査委員会委員の選任について

古平町固定資産評価審査委員会委員として、八戸幸治氏を選任するために、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものです。

＜同意4号＞ ＜原案同意＞

古平町教育委員会委員の任命について

古平町教育委員会委員として、平尾光一郎氏を任命するために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるものです。

＜認定第1号＞ ＜原案認定＞

令和6年度古平町各会計歳入歳出決算の認定について

令和6年度古平町各会計歳入歳出決算を監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものです。

＜認定第2号＞ ＜原案認定＞

令和6年度古平町簡易水道事業会計決算認定について

令和6年度古平町簡易水道事業会計決算を監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものです。

＜認定第3号＞ ＜原案認定＞

令和6年度古平町公共下水道事業会計決算認定について

令和6年度古平町公共下水道事業会計決算を監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものです。



「地域おこし協力隊」^{みずしま なおあき}水嶋 直滉 隊員の活動寄稿文を紹介します。

こんにちは！地域おこし協力隊 林業推進員の水嶋直滉です。

今年の夏から進めてきた「古平町工房」が、ついに本格的に稼働を始めました！木の香りが漂うこの工房では、地場木材を使った洋酒樽づくりを中心に、地域の森の恵みを活かしたものづくりを進めています。

夏休みの間には、北海道大学の学生たちが古平を訪れ、樽づくりに挑戦しました。木を削り、曲げ、組み上げる作業を通して、森の循環や職人の知恵に触れてもらうことができました。学生たちの真剣な眼差しと、工房に響く笑い声が印象的で、「この町から新しい木の文化が生まれている」と感じる瞬間でした。



工房には、町内外から多くの方々が見学や視察に訪れています。地域の未来と一緒に語り合えるこの場所が、少しずつ人の輪を広げてくれています。

一方で、設備の整備はまだ道半ば。特に井戸水の扱いには毎回四苦八苦していて、改良の余地がたくさんあります（笑）。

活動が広がるにつれて倉庫や作業スペースが手狭になってきました。今後は、もう少し広い場所への移転も視野に入れています。もし「この場所使えるんじゃない？」というアイデアがありましたら、ぜひお気軽にお声がけください！

また、森林所有者の方で「木の使い道に困っている」「何かに活かしてみたい」とお考えの方も、ぜひご相談ください。

工房では、地域の木を無駄にせず、新しい価値として生かす取り組みを進めています。地元の木が、家具や樽、そして観光体験など、さまざまな形で再び息を吹き返すような循環を目指しています。

まだまだ試行錯誤の毎日ですが、少しずつ、町の森と人をつなぐ場所にしていければと思っています。

お近くを通る際は、ぜひ工房を覗きにきてくださいね。これから古平町の木と人の未来を育てていけるよう、地道に一步一步進んでいきます！

＜連絡先＞ 水嶋直滉 TEL：090-8274-9963

Mail：mizushima.naoaki@gmail.com



「古平町工房」
浜町1100番地208

◇お問い合わせ先 総合政策課企画調整係（山貝・山本） ☎0135-48-9836（内線222・225）

中央バス高速しゃこたん号廃止のお知らせ

乗務員不足により路線維持が困難であることから、12月の冬ダイヤから美国～札幌間の高速しゃこたん号が廃止となります。

廃止となるのは、平日・土日祝日ともに4便(美国→札幌2便、札幌→美国2便)です。

冬ダイヤの情報につきましては、再度情報提供します。

◇お問い合わせ先

総合政策課企画調整係(山貝・山本)

☎0135-48-9836(内線222・225)

令和7年度 古平町文化祭開催のお知らせ

文化祭展示会・発表会を次の日程で開催します。町民の皆さんが日頃の芸術・文化活動の練習の成果を発表しますので、皆様揃ってお越しください。

・第51回古平町文化祭作品展示会

日時 10月23日(木)～26日(日)

午前10時～午後5時

・第58回古平町文化祭発表会

日時 11月3日(文化の日)

午後1時～午後4時

場所 複合施設かなえーる 1階大ホール

◇お問い合わせ先

古平町文化団体連絡協議会事務局

(教育委員会生涯学習係 小笠原・高橋)

☎0135-42-2590(内線144・145)

海のまちクリニック通信

発熱外来について

海のまちクリニックでは、下記の症状がある方は、発熱外来として予約制で診察を行っております。受診希望の方はお電話にてご予約をお願いします。



症状

- ・熱がある方
- ・咳や鼻水、のどが痛い、痰などの風邪症状がある方
- ・下痢、嘔吐など消化器症状がある方



感染予防のため診療所内には入れませんので、車内やトレーラーハウスにて検査や診察を行います。

※通常の診療と平行して発熱外来の対応を行っておりますので、お待ちいただく場合がございます。何卒ご了承ください。

インフルエンザ・新型コロナワクチン接種のご予約について

10月6日から開始しているインフルエンザ及び新型コロナワクチン接種のご予約のお電話は午後1時30分～午後5時の時間帯にお願いします。

※通常診療と平行して対応をしているため、午前中はお電話が繋がりにくいと思います。ご不便をおかけいたしますが何卒ご了承ください。

◎新型コロナワクチンは次の3種類を取り扱っておりますので、ご予約の際はどのワクチンを希望するかをお伝えください。

- ・コミナティ(ファイザー株式会社)
- ・ダイチロナ(第一三共株式会社)
- ・ヌバキソビッド(武田薬品工業株式会社)



◇お問い合わせ先 古平町立診療所海のまちクリニック(人見・本間・齊藤) ☎0135-42-2135



9/6・7 東海大学札幌高の柔道部が古平で合宿 古平柔道少年団も参加

東海大学札幌高校柔道部が古平町武道館で合宿を行いました。町出身の黒山幸洋さん（61歳）、新夕守さん（61歳）、古平柔道少年団のOBや瀧野巨さんの他、苫小牧市、旭川市、札幌市の小・中学生も参加しました。

同校の部員は、次年度に向けて乱取りなどの稽古をし、歌棄海岸のゴミ拾いボランティアや海水浴レクリエーションを行うなど、充実した合宿となりました。



9/24 幼児センター収穫祭 美味しいカレーを作るよ！

幼児センターで収穫祭が行われました。たいよう、つき、にじ組の園児たちは、それぞれのクラスで育て、収穫したじゃがいもや人参、玉ねぎを分担して、「洗う」「皮をむく」「切る」などを行いました。切った食材は、給食のカレーライスとなりました。

たいよう組の岸本悠利くんは「じゃがいもの皮むきが上手にできた！」とうれしそうに話してくれました。



9/30 商工会女性部が交通安全街頭啓発 交通事故ゼロを願う

商工会女性部が港町の国道沿いで街頭啓発を行いました。同部のメンバーは、運転中のドライバーにチラシと啓発品を手渡し、交通安全への協力を呼びかけていました。町のマスコットキャラクターでもあるふるっぴーも一緒に活動を盛り上げていました。

苗代澤英子部長は「事故のないよう安全運転を心がけていただけたらと思っています。こうした取り組みはこれからも続けていきたい」と話してくれました。



10/1 古平町教育委員辞令交付式 平尾光一郎さんに辞令

古平町教育委員会委員に平尾光一郎さんが任命され、町長から辞令が交付されました。

任期は10月1日から令和11年9月30日までの4年間です。

平尾さんよりあいさつ

「この度、教育委員を拝命いたしました。地域の子どものための明るい未来のため、教育の発展に誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。」



10/3

5歳児と小学生との遠足交流会
お弁当美味しいね

幼小連携の一環として、5歳児と小学1・2年生による遠足交流会が行われました。園児たちはみどり公園まで遠足し、現地で小学生と合流しました。両グループは一緒にお弁当やおやつを囲みながら楽しい時間を過ごし、食後は「たかたかおに」などのゲームを行い、元気いっぱい遊びました。中村椎ちゃん（なかにし）は「おにぎり美味しかったし、ゲームも楽しかった！」と笑顔で話してくれました。



10/4

古平中学校学校祭
今年のテーマは「熱血」

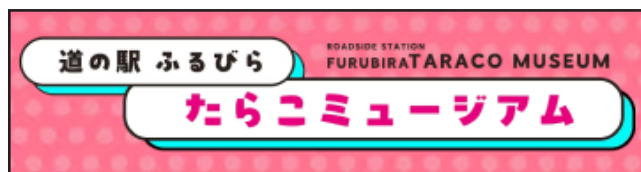
古平中学校で「古中祭」が開催されました。生徒たちは、地域を盛り上げ活気ある町にしたいという思いから、テーマを「熱血」と掲げました。

各学年のステージ発表や吹奏楽部の演奏が行われ、教員と生徒による有志ステージでは3組のチームがダンスを披露しました。最後は全校生徒が「心の中にきらめいて」を合唱し、会場からは大きな拍手が送られていました。

祝 道の駅 ふるびらたらこミュージアム

来場者 30万人達成

4月15日にオープンした「道の駅ふるびらたらこミュージアム」が、9月12日に来場者30万人を達成しました。30万人目となった江別市の竹野信子さんは、同市の寺院が企画した日帰りバスツアーへの参加で、古平町へは初めての訪町でした。成田町長から記念品を贈られた竹野さんは、「ただただビックリです」と話してくれました。





すこやかふるびら

11月



“みなし健診”でムダなく健康チェック！

～通院治療中の検査結果を活用できます～

今年度の健康診断(健診)はもう受けられましたか？ 国が定めている年に一度の特定健診は、40～74歳が対象です。国民健康保険に加入している対象年齢の方へは、ハガキや電話などで健診のご案内をしていますが、「病院に通っているから健診は受けない」という方も多いのではないのでしょうか。持病などで医療機関に通院中の方は、通院先で受けた検査結果を活用し健診を受けたものとする“みなし健診”制度があります。

●みなし健診とは？

特定健診は本来決められた検査項目を一括して受けることになっています。しかし、すでに病院で血圧測定や血液採取など必要な検査を受けている場合、その検査結果を特定健診のデータとしてご提供いただくことで、健診を受診したものとして扱う制度です。

●利用するメリット

- ・健診会場に行く必要がなく、時間や手間を減らせます。
- ・同じ検査を重複して受けることがなく、負担が少なくなります。
- ・健診項目に沿った検査データを把握できるため、現在治療中である持病以外の隠れている病気に早く気付くことができます。

●利用するには？

- ①現在通院中の医療機関がみなし健診を実施しているか、次の表で確認します。
- ②保健福祉課（0135-48-9839）までご連絡ください。みなし健診に必要な書類をお渡しします。
- ③次回の受診の際に、医療機関にみなし健診の希望を伝え必要書類の提出や追加の検査(腹囲計測や尿検査など)を実施します。

医療機関名	
海のまちクリニック	余市協会病院
小嶋内科	わたなべ内科医院
中島内科	田中内科医院
林病院	よいちクリニック
勝田内科皮膚科クリニック	森内科胃腸科医院
勤医協余市診療所	積丹町立国民健康保険診療所



現在上記医療機関で通院治療中の方は、ぜひ“みなし健診”をご検討ください。



健康カレンダー

11月

日	時	場 所	内 容
5日(水)	9:30～	西部集会所	西部お達者の間
11日(火)	13:00～	ふるびら温泉 しおかぜ	健康相談
19日(水)	9:30～	複合施設かなえーる	お達者の間 合同イベント(笑いヨガ)
27日(木)	14:00～	俱知安保健所	こころの健康相談 ※予約3日前まで ☎0136-23-1957 お問い合わせ：俱知安保健所 健康推進課 健康支援係

◇お問い合わせ先 保健福祉課健康推進係(川村) ☎0135-48-9839(内線134)



本の海より

～冬の初めに読みたい本～

冬の気配が立ち始めるころに読みたい、体を温めるための方法が書かれている図書を3冊紹介します。



『まいにち食べたい! 生姜レシピ』

著：森島土紀子 永岡書店

血流改善、免疫力や腸内環境をととのえる健康効果を持つ生姜を使ったレシピを175種類掲載。ひとさじ加えるだけの簡単なレシピから、サラダやおかず、スイーツまで。

種類や選び方・扱い方まで乗った生姜満載の1冊。



『自律神経は1分で整う!』

著：今野清志 自由国民社

自律神経を整えて「だ液」を増やせば免疫トラブルは改善する! 今日からすぐ始められる、1分でできる7つの自律神経エクササイズを紹介。



『ワタナベマキの体に優しいいたわりスープ』

著：ワタナベマキ 扶桑社

貧血、冷え、便秘、むくみ、ほてり…ヘトヘトな心と体をいたわるスープとみそ汁全66レシピ。「季節ごとに食べたい薬膳みそ汁」や「ヘトヘトな日のお助けスープ」などを掲載。

◎お知らせ

図書館では、毎月イベントを開催しています。
ぜひ気軽にご参加ください。

古平町図書館11月のおはなし会

開催予定

日時：11月15日（土） 11時～12時

場所：視聴覚室1

対象：幼児以～小学生



古平町図書館 複合施設かなえーる2階

開館日：火～日 10:00～18:00、祝日 10:00～17:00

閉館日：月、年末年始（12月31日～翌年1月5日）、蔵書点検期間

貸出期間：2週間 貸出冊数：一人15冊まで（図書と雑誌を合わせて）

その他：新聞記事検索やボードゲーム、電子機器の充電もできます。

お問い合わせ先：教育委員会図書係（永井） ☎0135-42-2590（内線144）





余市警察署だより



指名手配被疑者の検挙にご協力を！

11月1日(土)から11月30日(日)までの1か月間は、「指名手配被疑者捜査強化月間」です。8月末現在、全国の警察から指名手配されている者は約590人に上っています。

指名手配被疑者の発見に向けた捜査活動には、皆さんの御協力が必要です。指名手配被疑者によく似た人を見つけたなど、どんなわずかな情報でも結構ですので、警察に通報していただくようお願いいたします。

タイヤ交換時期、脱落に注意！

令和5年11月、札幌市西区の市道において、不正改造された軽自動車の前輪からタイヤが外れ、歩道にいた当時4歳の女兒に直撃した交通事故は記憶に新しいかと思えます。走行中のタイヤ脱落は重大事故に直結しますので、タイヤ交換後、50km～100kmほど走行した際は、必ずトルクレンチなどで増し締めを実施しましょう。

また、冬タイヤの傷やヒビ割れ、溝の深さは適正かなど、日常点検を励行して交通事故を防止しましょう。



社会に広げよう犯罪被害者等支援の輪

わいせつ被害や痴漢で悩んでいる方、家族・知人が被害に遭われて悩んでいる方、「相談したいけれど、警察署には行きづらい」と悩んでいる方、まずは性犯罪被害相談電話「＃8103(ハートさん)」にお電話ください。あなたの心に寄り添い、あなたの声をしっかりと受け止めます。

電話回線によっては、「＃8103」につながらない場合がありますので、その際は0120-756-310(性犯罪被害110番、通話料無料)にお電話ください。

◇お問い合わせ先

余市警察署

☎0135-22-0110

安心 有利 簡単

建設業の退職金なら

建退共済制度

建設業退職金共済機構

TEL 03-6731-2866

**6つの
特長**

- 国の制度で安全確実
- 掛金が一部免除
- 転職時は企業間を通算して計算
- 経営事項審査で加算
- 掛金は損金扱い
- 電子申請方式で手続き簡単

(独) 勤労者退職金共済機構

建設業退職金共済事業本部

検索

TEL 03-6731-2866

自衛官等募集案内

①一般曹候補生・②自衛官候補生

応募資格：18歳から33歳未満

受験期間：①9月16日(火)～11月21日(金)

②10月14日(火)～11月6日(木)

試験内容：筆記試験、適性検査、口述試験、身体検査等

陸、海、空自衛隊には、車両・船・飛行機を扱う職種が100種類以上あります。試験内容・イベント案内及び各種個別説明などの詳しい内容は、次にお問い合わせください。

◇お問い合わせ先

自衛隊札幌地方協力本部小樽地域事務所

☎0134-22-5521(9時～17時30分)

※土日祝日を希望される方は事前に連絡

mail:otaru_spc@rct.gsdf.mod.go.jp

必ずチェック！最低賃金。

北海道最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者(会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人)及びその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額1,075円

効力発生日 令和7年10月4日

厚生労働省 北海道労働局
労働基準監督署(支署)

11月の休日当番病院

○当番病院(午前9時～午後5時)

日	医院名	電話番号
2日(日)	勤医協余市診療所	0135-22-2861
3日(月)	田中内科医院	0135-22-6125
9日(日)	小嶋内科	0135-22-2245
16日(日)	林病院	0135-22-5188
23日(日)	池田内科クリニック	0135-23-8811
24日(月)	黒川町整形外科クリニック	0135-22-2447
30日(日)	森内科胃腸科医院	0135-32-3455

※余市協会病院には、常時、日直の医師がおり急患に限り診療します。

○夜間救急病院(※急患に限り診療します。)

医院名	電話番号	診療時間
余市協会病院	0135-23-3126	午後6時～翌日7時

※診療科目 内科、小児科、外科、整形外科

余市税務署より「税を考える週間」のお知らせ

国税庁では、国民の皆様には租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくため、1年を通じて租税に関する啓発活動を行うとともに、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、集中的に様々な広報広聴施策を実施しています。

1 国税庁ホームページによる広報

「税を考える週間」に合わせて、国税庁ホームページ内に「これからの社会に向かって」をテーマとした特設ページを設け、国税庁の各種取組についてご紹介します。

2 SNSを利用した広報

「税を考える週間」に合わせて、YouTubeの「国税庁動画チャンネル」に新着動画を掲載するとともに、各種情報をX（旧Twitter）で発信します。

3 小学生の税に関する作品展の開催について

余市税務署が主催する「小学生の税に関する書道」の作品の展示を次のとおり行います。

児童の皆様が税について考え、表現した、元気あふれる作品をぜひご鑑賞ください。

○会場 古平郵便局（入船町9番地1）

○日時 11月11日（火）～17日（月）

営業時間 9時～17時（土日祝日を除く）

◇お問い合わせ先

余市税務署総務課

☎0135-22-2093（ナビダイヤル2番）

11月5日は「津波防災の日」です

11月5日は、「津波防災の日」です。これは、1854年同日（旧暦）の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際、稲わらに火をつけて村人を高台に避難させた“稲むらの火”の逸話にちなんで制定されたものです。

津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、海から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。

千島海溝沿いではマグニチュード9クラスの巨大地震がいつ発生してもおかしくないと言われていいます。気象庁では、日本海溝・千島海溝沿いの領域でマグニチュード7以上の地震が発生した場合は、それに続いて巨大地震発生の可能性が普段に比べて高まっているとして、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表して注意を呼びかけます。「津波防災の日」を機会に、突発的に巨大地震が発生した場合を想定し、地震・津波への備えをご確認下さい。

◇お問い合わせ先

札幌管区気象台地域防災推進課

☎011-611-6149

いきいき・ほのぼの文芸

古平町岬短歌会

いざ響け遠き海山こだまして過疎の町にも祭りのたいこ

大谷 マサイ

お盆すぎ今年も無事に墓参り太鼓たたいて灯籠見送る

大島 敏子

甲子園球児の顔が孫に見え誰かれなしに声出し応援

斎藤 睦子

日の出前一匹てくてく歩くを見キツネで良かったほつとする朝

佐々木 とも子

白ナスのジャンボ輪切りをステーキに初の食感トロトロつまし

寺田 カツ子

マクワウリ「昔ながらの味が好き」そういう世代の仲間とドライブ

藤平 まゆみ

古平俳句会

信号の青さも秋の海の色

どふ見ても秋の空です真つ青です

立ち上がる波より白き秋の風

国境幾つも越えて鳥渡る

日本海秋雨前線居座れり

屋根のないホーム抜け行く秋の風

吉田 金治

渡辺 嘉之

新米や五臓六腑の早や目覚め
次ぎつぎと彩の生まれし窓の秋
入れ変る雲の迅さや秋の空

風澄みて山並澄みて蔦紅葉
紅葉の迫り来る海黒くると
対岸へ波の調べや天高し

室谷 弘子

仲谷 比呂古

恵比須神社例大祭

9月13～14日に恵比須神社例大祭が行われました。13日（宵宮）は雨の中で火渡りが行われました。14日（本祭）には雨が上がり、猿田彦を先導に神輿や奴、子供会の山車などが浜町方面を練り歩き、夜には火渡りが行われました。猿田彦や獅子舞が身の丈を大きく超える炎の中を火の粉を巻き上げながら勇壮に渡る姿に、観客から大きな歓声と拍手が送られていました。



9月の水揚げデータが
閲覧できます！

■数量
90,040.80kg
(前年比55.1%)
■金額(税抜)
72,955,225円
(前年比57.8%)



▲詳しくはこちら

町の人口と世帯数

	前月比
人口 2,528人	(10)
男 1,192人	(-4)
女 1,336人	(14)
世帯数 1,601世帯	(12)
上記のうち	
外国人 60人	(12)
男 12人	(-1)
女 48人	(13)

令和7年9月末日現在
住民基本台帳人口



ご冥福をお祈りいたします

氏名	年齢	死去月日	町内
本間 妙子 さん	77歳	8・26	本陣
野戸 秀則 さん	81歳	9・7	浜一
金子 トシエ さん	83歳	9・15	新地町